

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	北海道支部	(2) 記載者氏名:	漆崎 隆	会員番号:	13040	事務局整理記入欄	北海道 - 219	
分水嶺区分:	南	割岩東端基部～H2015岩峰コル812m	(3) 山行日:	2006年	1月	21日	(4) 天候	曇りのち雪

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

中村喜吉	10978						
片岡 次雄	12093						
漆崎 隆	13040						
漆崎 裕子	13041						
計				4名			

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:		八雲温泉 P790(割岩)基部 雄鉾岳鞍部 P790(割岩)基部 八雲温泉											
アプローチ:		札幌 R230 R5 八雲 八雲温泉車中泊 P790(割岩)基部 雄鉾岳鞍部 八雲温泉泊 札幌											
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	八雲温泉	遊楽部岳	140	7	23.81	42	11	10.35	217.1		8:00		
分水嶺到達点	割岩東端基部	渡島鮎川	140	6	36.32	42	9	39.90	690.0	12:20	12:30	B-4	(9),(10)
H2015	雄鉾岳岩峰コル	渡島鮎川	140	6	42.92	42	9	24.49	811.7	14:08	14:10	B-4	(9),(10)
分水嶺離別点	割岩東端基部	渡島鮎川	140	6	36.32	42	9	39.90	690.0	15:00	15:05	B-4	
歩行終了点	八雲温泉	遊楽部岳	140	7	23.81	42	11	10.35	217.1	17:30		A-1	
総歩行時間(休憩時間を除く)												8時間00分	

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

--

(9) 水および植生に関連した特記事項

割岩基部から雄鉾岳岩峰終了コルに到る分水嶺上に高さ3メートルの雪庇があった。それを突破していくと、風の通り道となっていて、樹木の生えていない笹の稜線である。
--

(10) その他の特記事項

割岩直下まではスキーを使用。その先の急斜面からはワカン又はスノーシューを使用した。50度を越え、腰まである深雪の斜面では長いスノーシューよりもワカンのほうが有利であった。 稜線上は猛烈な風。道南といえども北海道だ。軽度ではあるが凍傷になる者2名。
--

(11) 写真の添付: (有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明:
